

人類音楽史に刻み込まれた不滅の金字塔！



ドイツ捕虜収容所 — 極限状態に置かれた
天才の筆が生み出した永遠の命へのあこがれ、そして賛歌

OLIVIER MESSIAEN

QUATUOR POUR LA FIN DU TEMPS

MAURICE RAVEL (1875-1937) SONATA FOR VIOLIN AND CELLO (1920/22)

GUSTAV MAHLER (1860-1911) 4 SONGS FOR ENSEMBLE ARR. BY M. UCKI

- I. RHEINLENDCHEN FROM "DES KNABEN WUNDERHORN"
- II. VERLORNE MÜH' FROM "DES KNABEN WUNDERHORN"
- III. LOB DES HOHEN VERSTANDS FROM "DES KNABEN WUNDERHORN"
- IV. OFT DENK' ICH, SIE SIND NUR AUSGEGANGEN! FROM "KINDERTOTENLIEDER"

9.28 SAT 18:00 Hakuju Hall

ディルク・アルトマン[クラリネット] 白井 圭[ヴァイオリン] 岡本麻子[ピアノ] 横坂 源[チェロ]

ラヴェル: ヴァイオリンとチェロのためのソナタ

マーラー/ウッキ編曲:

『子供の魔法の角笛』より

“ラインの伝説・むだの骨折り・塔の中の4人の歌”

『亡き子をしのぶ歌』より

“ふと私は思う、あの子たちはちょっと出かけただけなのだ”

メシアン: 時の終わりへの四重奏曲

料金: 全指定席5,000円

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード: 154-443)

(株)クレオム tickets@creomu.com

主催・お問い合わせ: (株)クレオム info@creomu.com 03-6804-6526 協力: (株)美ら音工房



メシアン～時の終わりへの四重奏曲～

第二次大戦中、ベルダンの軍楽隊に派遣されたメシアンがクラリネット奏者と出会い、
捕らわれの身の中、この曲の着想、作曲が始まった。

1941年、そこで出会った音楽家たちと、捕虜収容所内で初演された。

メシアンは、ヨハネの黙示録にインスピレーションを得、鳥のさえずりに希望を聞き、

一時的に肉体が束縛されたとしても、精神は永遠に自由であると悟った。

何度も繰り返される原始的なリズム、一人一人の独白ともいえる、時の中を彷徨うメロディ。

極限の状況の中での生への渴望、救いへの希求、

それを持ってこの作品は全人類の音楽的遺産となった。



クラリネット
ディルク・アルトマン
DIRK ALTMANN, CLARINET

1965年ドイツ・ハノーファー生まれ。7歳でクラリネットを始め、ハノーファー音楽大学にて学ぶ。81年ドイツ青少年音楽コンクール「Jugend Musiziert」にて第1位を受賞。83年より、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の研修生（カラヤン・アカデミー）になり、2年間オーケストラの一員として、研鑽を積む。85年より、シュトゥットガルト放送交響楽団首席クラリネット奏者。ソリストとして、多くの有名オーケストラとの共演、自身の手掛ける室内楽グループとのCD録音をする等、ドイツの一流オーケストラの奏者として重要な役割を果たしている。



チェロ
横坂 源
GEN YOKOSAKA, CELLO

桐朋学園女子高等学校（男女共学）、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。その他、出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。室内楽部門では、2009年に全ドイツ学生音楽コンクールで第1位を受賞。国内外主要オーケストラと多数共演し好評を博している。これまでに、鷲尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギアン・ケラスの各氏に師事。2016年9月、ワーナーミュージック・ジャパンより「J.S.バッハ:ガンパ・ソナタ集」をリリース。

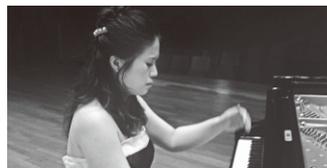


ヴァイオリン
白井 圭
KEI SHIRAI, VIOLIN

1983年トリニダード・トバゴ共和国に生まれる。3歳よりヴァイオリンを始め、6歳より徳永二男氏の薫陶を受ける。東京芸術大学付属高校を経て、同大学を卒業。この間大谷康子、田中千香士、ゴールドベルク山根美代子の各氏に師事。2007年文化庁の奨学生として留学。ウィーン国立音楽演劇大学室内楽科にてヨハネス・マイスル氏、ヴェスナ・スタンコービッチ氏に師事。日本音楽コンクール（第2位及び増沢賞）、ARDミュンヘン国際コンクール（第2位及び聴衆賞）、ハイドン国際室内楽コンクール（第1位及び聴衆賞）などのコンクールに受賞。ソリストとしてチェコフィル、ミュンヘン室内管、新日本フィル、東京フィルなどと共演。ウィーン楽友協会や、ウイグモアホール（ロンドン）、コンツェルトハウス（ベルリン）等のステージで演奏、他数々の音楽祭にも出演。トリオ・アコード、シュテファン・ツヴァイク・トリオ、ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ各メンバー。レボリューション・アンサンブル音楽監督。ウィーン在住。

www.stefanzweigtrio.com

www.ludwigchamberplayers.com



ピアノ
岡本麻子
ASAKO OKAMOTO, PIANO

桐朋女子高等学校ピアノ科卒業。その後、ドイツへ留学。フライブルグ州立音楽大学、同大学院、ケルン音楽大学演奏家資格を最優秀で修了。これまでに、エピナール（第1位）、ケルン・ショパン（第1位）、エリザベート王妃（ファイナリスト）等の世界的権威ある国際コンクールに受賞。2007年12月にはパリにおいてメシアン国際ピアノコンクール第3位入賞。ガラコンサートにて、ファイナリストからただ一人抜擢され、ピエール・ブーレーズ指揮、アンサンブル・アンテルコンテンポランと再び共演し大絶賛される。これまでに、国内外のオーケストラと共演するほか、音楽祭、ソロ・リサイタルや室内楽など活発に演奏活動を行っている。2015年9月に2枚目となるアルバム、メシアン作曲「幼子イエスに注ぐ20のまなざし全曲」（ナミレコード）リリース。京都市立芸術大学非常勤講師、大阪教育大学芸術表現専攻（音楽）准教授として後進の指導も行っている。大阪在住。

Hakuju Hall

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5 (株)白寿生科学研究所本社ビル7F Tel 03-5478-8867

電車 代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分/代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

バス 「富ヶ谷」停留所下車徒歩1分 ○京王バス 渋61(初台駅行)渋63(中野行)渋64(中野行)

渋66(阿佐ヶ谷行)渋69(笹塚循環) ○ハチ公バス 本町・笹塚循環 春の小川ルート

※ホールにはお客様用駐車場はございません。近隣の駐車場をご利用ください。

